

## 学校法人長崎学院長崎外国語大学中期計画（2026-2030）

### 基軸 A 教育・研究

#### 基軸 A ビジョン 2030

【教育】日本及び諸外国から集まった長崎外大の学生は、教室内外（留学を含む。）での学生及び教職員との知的文化的交流の中で、卓越した語学力、幅広い教養、深い専門性、並びに課題解決力等コンピテンシーを身につけ、多言語多文化グローバル人材として地域社会並びにグローバル社会の発展に寄与する高い志を持ち、社会に踏み出す準備ができています。

【研究】長崎外大の研究は、「世界平和と人類の共存共栄の理想を実現する」ために、情報言語コミュニケーションの基盤を開発整備し、その教授法が熟成され、グローバル化の進展と多文化共生における諸課題や地域社会の課題を指し示し、その解決に寄与することができています。

#### 基軸 A ビジョンを実現するための取組（2026年度から2030年度まで）

「三つの方針」（ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー）に基づき、学修成果の可視化を図りながら、学生の主体的学びを促し、逞しいグローバル人材を育成する。そして、そのための組織マネジメントを確立する。

#### 【戦略1】建学の精神及び「入学者受入れの方針（AP）」に基づく多様で優秀な学生の確保

- A-1-1：「入学者受入れの方針（AP）」に基づく、本学が求める学生像に合致する多様で優秀な学生の国内外からの獲得

施策	担当部署	KGI
(1) 適正な定員管理（留学生を含む。）に基づく計画的な入学者の確保	入試広報部	2027年度から2031年度まで各年度の収容定員の充足
(2) 高大連携の充実	入試広報部	高大連携実施校からの入学者数（2027年度から2031年度までの各年度で10）

#### 【戦略2】国際日本学科（仮称）の増設による日本文化発信型グローバル人材の育成

- A-2-1：国際日本学科（仮称）の設置並びに完成年度までの教育の充実と質保証

施策	担当部署	KGI
(1) 国際日本学科（仮称）の設置と設置計画の確実な履行	設置準備室 国際日本学科（仮称）	学科設置後から完成年度までの改善事項の確実な履行（定性目標）

(2) 国際日本学科（仮称）の教育と教員組織の充実	国際日本学科 （仮称） 大学協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2027年度新規教員採用人数 2</li> <li>・学科設置後から2031年度まで社会のニーズを踏まえた不断の教育改善の実施（定性目標）</li> </ul>
(3) 地域と世界を結ぶ力を養成するための実践的な教育の導入	国際日本学科 （仮称） 大学協議会	2030年度開講科目のうち自治体・産業界と連携して実施する授業 5

### 【戦略3】 日本語教員養成課程・実践研修の円滑な運営と日本語教員養成推進

●A-3-1：設置計画に基づく教育の質の向上及び育成した日本語教員の社会への輩出

施策	担当部署	KGI
(1) 日本語教員養成課程・実践研修の定員の充足	養成課程運営委員会	2031年度と同課程の収容定員充足
(2) 日本語教員養成課程・実践研修の円滑な運営（教育、地域との連携、質保証、進路）	養成課程運営委員会	2030年度課程修了者の「日本語教員試験」合格率（全国平均以上）

### 【戦略4】 新カリキュラムに基づく外国語学部教育の充実

●A-4-1：2027年度新カリキュラムへの円滑な移行及び教育の質の向上

施策	担当部署	KGI
(1) 3ポリシーおよびアセスメント・プランについて、必要に応じた内容の精緻化・修正	外国語学部 大学協議会	2030年度卒業者のDP「⑥総合的能力」達成度自己評価平均 2.9
(2) 多様な文化的背景と価値観を持った留学生との共修・協働による教育環境の創出	外国語学部 大学協議会	2026年度共修・協働科目数 10、以降各年度増加科目数 2
(3) 社会・地域課題の解決に貢献できる能力の育成	外国語学部 大学協議会	2030年度卒業者のDP「②汎用的能力」達成度自己評価平均 2.9
(4) 数理・データサイエンス・AI教育プログラムの充実	外国語学部 大学協議会	NUFS DSリテラシー教育プログラム関連科目2030年度授業評価における授業満足度 80%

### 【戦略5】 学修・教育・進路支援を支える学生支援の充実

●A-5-1：学生支援・キャリア教育・就職支援の充実による学生生活への教育的なインパクトの付与

施策	担当部署	KGI
(1) 学生支援体制の変革：留学生を含む学生コミュニティの構築による学生支援（ピア・サポートプログラム等）	学生部	学生チームによる留学生生活支援モデルの確立（定性目標）

(2) 学内組織（学部等）との連携及び情報共有によるキャリア支援	学生部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼミ制の導入（定性目標）</li> <li>・多部署連携による体系的なキャリア支援体制の構築（定性目標）</li> </ul>
(3) 正課としてのインターンシップ制度の充実	学生部 国際交流センター	計画該当期間中における留学生の受入れに積極的なインターンシップ先の新規開拓件数 5

## 基軸 B 国際

### 基軸 B ビジョン 2030

長崎外大の教職員は、多文化共生の理念に賛同し、自ら優れたグローバル人材としての力を持っている。これらの意欲あふれる教職員によって、研究を踏まえた教授法の改善により優れた多言語多文化教育、キャンパスのグローバル化への取組みや海外の大学や機関との教育研究上の連携・交流等、国際戦略の展開が活発に行われている。

### 基軸 B ビジョンを実現するための取組（2026 年度から 2030 年度まで）

「世界がキャンパス！キャンパスが世界！」のスローガンのもと、優れた国際教育環境を提供し、グローバル社会に通用する課題解決能力を備えた人材を育成する。

### 【戦略 6】多言語多文化グローバル人材の育成に資する多様な国際教育交流プログラムの展開

#### ●B-6-1：「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」に基づく計画の履行

施策	担当部署	KGI
(1) 国際交流協定校とのダブルディグリープログラムの推進	国際交流センター	二重学位留学派遣者数（計画該当各年度において 5）
(2) アジアでのインターンシップ、短期文化研修の実施	国際交流センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画該当期間中のインターンシップ実施国・地域数 4</li> <li>・海外インターンシップ及び短期文化研修派遣者数（計画該当各年度において 30）</li> </ul>
(3) 海外の高等学校等との連携教育の推進（2.5+0.5 プログラム等）	国際交流センター	海外高等学校の連携先（計画該当各年度において新規開拓 1）
(4) 海外機関への教員・学生派遣（オンライン含む）	国際交流センター	派遣事業実施件数（計画該当各年度において 4）
(5) 海外からの大学見学会・研修等の実施	国際交流センター	見学会・研修等受入れ件

	ター	数（計画該当各年度において4）
(6) 地政学的リスクを回避するための留学生の受入れ地域の拡大・多様化	国際交流センター	計画該当期間中の留学生受入れ国・地域拡大数2

**【戦略7】教育の国際化：優秀な学部留学生の受入れと質の高い留学生教育の提供**

●B-7-1：学部留学生教育に係る教学マネジメントの点検評価と改善

施策	担当部署	KGI
(1) 外国人留学生教育の質保証スキームの構築	学生部 内部質保証推進協議会	2031年度1年次入学者に占める外国人留学生比率20%以内
(2) 地域産業界との接続の強化による外国人留学生就職先の拡充	学生部	2030年度卒業の外国人留学生国内就職率（2025年度比で+20ポイント）

**基軸C 社会貢献**

基軸C ビジョン2030

<p><b>【卒業生】</b> 長崎外大の卒業生は、どのような職業についているにせよ、世界各国で、また日本やそれぞれの地域で多言語運用力と多文化共生の視野をもった人材として社会や地域の発展に貢献している。多くの卒業生が母校で再び学び、また他の同窓生や地域社会と深くつながり、社会の持続的な発展に寄与している。</p> <p><b>【大学】</b> 長崎外大は、その人的資源、知的財産を活用して、卒業生・同窓会、保護者会と連携し、自治体、学校、産業界、地域コミュニティ等と交流を図るとともに、様々な社会的ニーズや課題解決に対応できている。情報技術によるコミュニケーション技術の基盤を備えたグローバル・キャンパスとしての環境が整備され、地域の国際交流拠点として地域の発展に寄与している。また、社会をフィールドとする研究を通して社会貢献が行われている。</p>
---

基軸C ビジョンを実現するための取組（2026年度から2030年度まで）

連携自治体及びその初中等教育機関、近隣高等学校、地元産業界、金融機関等のステークホルダーとの連携を強化し、長崎県における国際交流と多文化共生の推進拠点としての地位を確立する。
---

**【戦略8】地域の国際化と多文化共生の連携拠点の構築**

●C-8-1：「地域構想推進プラットフォーム」構築も視野に入れた「地域に開かれた大学」「地域に必要とされる大学」づくりの推進

施策	担当部署	KGI
----	------	-----

(1) 近隣自治体（長崎市・時津町・長与町・新上五島町等）における初中等教育支援事業の実施	社会連携センター	支援事業実施件数（計画該当各年度において10）
(2) 近隣自治体・地元産業界・地元金融機関との紐帯強化	社会連携センター 法人事務局	2030年度までの新規連携形成件数3
(3) 社会人の高等教育へのアクセス促進と学びの場の提供	社会連携センター 学生部	・社会人リカレント講座実施件数（計画該当各年度において3） ・科目等履修生数（2030年度において延べ30名）
(4) 国際交流と多文化共生をコアとした本学発地域創生の取組の構築・実施	大学協議会 社会連携センター	本学主催事業実施件数（計画該当各年度において1）
(5) 九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォームによる他大学との連携の枠組みを活用したC-8-1(1)～(4)の事業の促進	総務課	C-8-1(1)～(4)の目標に準じる

## 基軸D 経営・運営

### 基軸D ビジョン2030

長崎外大では、多言語・多文化教育をはじめ、先駆的で特色ある教育・研究と社会貢献活動が活発に展開されている。それを持続的に支える組織体制と強固な財務基盤並びに大学を取り巻く様々な社会変化に対応できるリスクマネジメントが確立されている。教育の質保証と経営の透明性並びにエビデンスに基づく意思決定が確保され、積極的な情報の公表・発信により、社会から厚い信頼を得ている。

### 基軸D ビジョンを実現するための取組（2026年度から2030年度まで）

内部質保証の実質化を推進し、PDCAサイクルを通じて本学の特色を尖鋭化するとともに、特色を生かした学生募集によって入学定員・収容定員の確保に努め、強固な財務基盤の確立に繋げる。また先駆的で特色ある教育研究に資する人材を登用・育成し、公平で公正な人事管理を実現する。

### 【戦略9】内部質保証の実質化

#### ●D-9-1：大学機関別認証評価第4サイクルの適合判定に向けた内部質保証の実質化

施策	担当部署	KGI
(1) 現代英語学科における英語外部アセスメントの結果を向上させる諸施策の実施	現代英語学科	・2027年度入学時CASECスコア420未満の学生のうち

		2029年度3年次終了時3レベル以上進級者50% ・2027年度入学時CASECスコア420以上の学生のうち2030年度卒業時TOEIC L&R 730以上取得者1割以上、600以上取得者60%
(2) DP達成度の自己評価等に基づく教育改善のEBPMと実効性ある改善策の実施	教学IR委員会 学生部	2028年度大学機関別認証評価の適合判定(定性目標)
(3) 精緻なデータ管理と積極的な情報公表を土台とした本学のPRに繋がる特色の創出	教学IR委員会 入試広報部	2031年度1年次入学の国内学生数160名

### 【戦略10】 堅調な学生募集に裏打ちされた健全な財務の確保と設備の充実

#### ●D-10-1：新学科・国際日本学科（仮称・設置構想中）を含む入学定員の充足

施策	担当部署	KGI
(1) 18歳人口逡減期を乗り切る学生募集体制の確立とPR手法の不断の改善	入試広報部	2031年度1年次入学の国内学生数160名
(2) 国際日本学科（仮称）の学修成果の可視化とこれに基づく円滑な学生募集の実施	国際日本学科（仮称） 入試広報部	2030年度国際日本学科（仮称）の収容定員充足率100%

#### ●D-10-2：手法の多様化と地域の拡大による留学生獲得施策の高度化

施策	担当部署	KGI
(1) ダブルディグリー制度の拡充等による留学生受入れの更なる活性化	法人事務局 国際交流センター	2030年度3年次編入学者数30名
(2) 地政学的リスクに対応する留学生獲得地域の拡大（中央アジア、南アジア）	法人事務局 国際交流センター	2031年度1年次入学の外国人留学生の出身国・地域数9
(3) 在学生に占める留学生比率の適正数値の維持（留学生奨学費の再検討を含む）	法人事務局	2031年度1年次入学者に占める外国人留学生比率20%以内

#### ●D-10-3：収入源の多様化と支出抑制による健全な財務基盤の確立

施策	担当部署	KGI
(1) 私立大学等経常費補助金の獲得	財務課 外部資金委員会	計画期間中の私立大学等改革総合支援事業における選定タイプ数累計10
(2) 収入源の多様化 ①寄付金のオンライン受付等実施とふるさと納税の活用による寄付受入れ活性化	法人事務局 財務課	2030年度の寄付金受領年間総額2,700千円

(3) 収入源の多様化 ②研究者の意欲向上 施策推進による科学研究費の獲得の増大	財務課 研究推進委員 会	2030年度の科研費被 採択件数 10
(4) 徹底した予実管理、人員配置適正化、 業務DX化推進等による支出抑制の推進	法人事務局 財務課	2030年度決算におけ る経常収支差額 +169,500千円

●D-10-4：新たな教育の取組を支える施設・設備の維持拡大

施策	担当部署	KGI
(1) 国際寮アンペロスの改修・補修による 環境改善と寮内国際交流の活性化	法人事務局 アンペロス寮 運営委員会	2030年度の国際寮の 収容率 90%
(2) スマートキャンパス化の推進	教育研究メデ ィアセンター	2030年度までのDX 化新規実施件数 8
(3) 国際交流拠点としてのキャンパス機能 強化	総務課 管財課 社会連携セン ター	計画期間中の学外主催に よる学内での国際交流事 業実施件数累計 15

**【戦略 11】 公平で公正な人事管理によるエンゲージメントの向上**

●D-11-1：教職員の人事制度改革

施策	担当部署	KGI
(1) 教育職員の人事評価制度の導入と処遇 反映の定着	大学協議会	2030年度までの処遇 反映を含む制度導入（定 性目標）
(2) テニユアトラック制度・クロスアポイ ントメント制度の活用による特色ある教育 研究人材の確保	大学協議会 人事委員会	2030年度の基幹教員 に占める実務家教員比率 10%
(3) 事務職員人事評価制度の不断の改善	法人事務局 総務課	2030年度までの処遇 反映手法改善も含む制度 確立（定性目標）
(4) 看護師等有資格者やURA等、多様な 専門人材の確保 ※前回認証評価の参考意見への対応項目	法人事務局 総務課	2028年度の看護師等 有資格者の在職者数 1

**【参考】九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム（QSP）事業について**

長崎外国語大学は、2017(平成 29)年度より、九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム（QSP）に参画し、長崎県・佐賀県における地域創生の推進事業を行っています。

QSP は 2023(令和 5)年 4 月 1 日に 6 か年度にわたる第 2 期中期計画を策定し、「教育改革」「SDGs 推進」「国際交流」の 3 プロジェクトを推進することとしており、各プロジェクトに対応する 16 項目の戦略と数値目標が設定され、これに加えて QSP 全体の事業推進アウトカムとして 4 項目の数値目標が掲げられています。

学校法人長崎学院及び長崎外国語大学は、上記学院中期計画に「C-8-1(5)」として QSP 事業の促進を謳っていますが、QSP 事業への更なる積極的な参画と円滑な推進を期すため、2026(令和 8)年度以降 5 か年度を対象とする学院中期計画に、上記 C-8-1(5)を補足するかたちで下表の事業項目及び数値目標を追加いたします。事業項目は、学院中期計画の施策項目を基に QSP 事業への対応の要素を加え、また学院中期計画の KGI を参考としつつこれら QSP 事業対応項目としての KPI を新たに設定しました。

《QSP 第 2 期中期計画と本学院中期計画(2026-2030)の対応表》

QSP 第 2 期中期計画（2023 年度～2028 年度）			本学院中期計画（2026 年度～2030 年度）		
プロジェクト /アウトカム	事業	数値目標	施策 No.	QSP 事業に対応する施策項目	数値目標（KPI）
教育改革 プロジェクト	①QSP 科目群としての授業の提供、または共同開発	期間中に 5 科目以上	C-8-1(5)	九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォームによる他大学との連携の枠組みを活用した C-8-1(1)～(4)の事業の促進 【共同での授業の開発と提供】	【独自】共同開発・提供科目数（2026～2028 年度において累計 1）
	②共同 SD・FD	期間中に 15 回以上	C-8-1(5)	九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォームによる他大学との連携の枠組みを活用した C-8-1(1)～(4)の事業の促進 【共同 SD・FD の実施への関与】	【独自】共同 SD・FD 実施件数（2026～2028 年度において各年度で 1）
	③共同研究	期間中に 10 件以上	C-8-1(5)	九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォームによる他大学との連携の枠組みを活用した C-8-1(1)～(4)の事業の促進	【独自】共同研究実施件数（2026～2028 年度において各年度で 1）
	④共同 IR による共通調査等	期間中に 5 件以上	C-8-1(5)	九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォームによる他大学との連携の枠組みを活用した C-8-1(1)～(4)の事業の促進	【独自】共同 IR 実施件数（2026～2028 年度において各年度で 1）
	⑤高大接続事業（共同訪問、共同説明会等）	期間中に 5 件以上	A-1-1(2)	高大連携の充実	高大連携実施校からの入学人数（2027 年度と 2028 年度の各年度で 10）
	⑥地元就職支援に係る地元企業との連携事業	期間中に 5 件以上	A-5-1(3)	正課としてのインターンシップ制度の充実	2026～2028 年度における留学生の受入れに積極的なインターンシップ先の新規開拓件数累計 3
	⑦リカレント教育の講座等	期間中に 10 件以上	C-8-1(3)	社会人の高等教育へのアクセス促進と学びの場の提供	社会人リカレント講座実施件数（2026 年度～2028 年度において各年度で 3）

SDGs 推進 プロジェクト	⑧共同公開講座	年 5 件以上	C-8-1 (3)	社会人の高等教育へのアクセス促進 と学びの場の提供	社会人リカレント講座実施 件数（2026 年度～2028 年度において各年度で 3）
			C-8-1 (4)	国際交流と多文化共生をコアとした 本学発地域創生の取組の構築・実施	本学主催事業実施件数 （2026 年度～2028 年 度において各年度で 1）
	⑨健康増進事業	期間中に 10 件以上			
	⑩自治体、地場産業、 地場企業からの課題 解決にかかる受託 事業等	期間中に 5 件以上			
	⑪自治体、地場産業、 地場企業との WG の組成	期間中に 5 件以上	C-8-1 (2)	近隣自治体・地元産業界・地元金融 機関との紐帯強化	2030 年度までの新規連 携形成件数 3
	⑫施設・設備の共同 利用による取組	期間中 10 件以上	D-10-4 (3)	国際交流拠点としてのキャンパス機 能強化	2026 年度～2028 年度 における学外主催による学 内での国際交流事業実施件 数累計 9
	⑬初中等教育関連教材 の開発	期間中に 4 本以上	C-8-1 (1)	近隣自治体（長崎市・時津町・新上 五島町等）における初中等教育支援 事業の実施【マニュアルの教材とし ての提供】	支援事業実施件数（2026 ～2028 年度において累計 6）
⑭初中等教育関連支援 活動	期間中に 10 件以上	C-8-1 (1)	近隣自治体（長崎市・時津町・新上 五島町等）における初中等教育支援 事業の実施	支援事業実施件数（2026 ～2028 年度において累計 6）	
国際交流 プロジェクト	⑮留学生支援事業	期間中に 5 件以上	A-5-1 (1)	学生支援体制の変革：留学生を含む 学生コミュニティの構築による学生 支援（ピア・サポートプログラム 等）	数値目標なし（定性目標の み）
			C-8-1 (4)	国際交流と多文化共生をコアとした 本学発地域創生の取組の構築・実施 【留学生の交流体験の機会創出】	本学主催事業実施件数 （2026 年度～2028 年 度において各年度で 1）
	⑯留学生交流事業	期間中に 5 件以上	C-8-1 (1)	近隣自治体（長崎市・時津町・新上 五島町等）における初中等教育支援 事業の実施【留学生の協力を得て実 施】	支援事業実施件数（2026 ～2028 年度において累計 6）
			D-10-4 (1)	国際寮アンペロスの改修・補修によ る環境改善と寮内国際交流の活性化	2028 年度の国際寮の収容 率 90%
事業推進 アウトカム	⑰長崎県内大学 進学率	2027 年度で 43.8%以上（2021 年度実績 42.8%）			
	⑱長崎県内大学等 進学者の流出入差	2027 年度で▲ 1,600 人以内 （2021 年度実績▲ 1,679 人）	A-1-1 (1)	適切な定員管理（留学生含む）に基 づく計画的な入学者の確保	2026～2028 年度の 収容定員充足率 100%
	⑲長崎県内大学等 進学者の流出入差	2027 年度で▲ 1,600 人以内 （2021 年度実績▲ 1,679 人）	A-1-1 (1)	適切な定員管理（留学生含む）に基 づく計画的な入学者の確保	2026～2028 年度の 収容定員充足率 100%
	⑳長崎県内事業所 就職率	2027 年度で 55.5%以上（2021 年度実績 54.5%）	A-5-1 (3)	正課としてのインターンシップ制度 の充実	2026～2028 年度におけ る留学生の受入れに積極的 なインターンシップ先の新 規開拓件数累計 3

以 上